



通信

みんなをつなぐ情報誌

2019年11月1日 NO. 289

編集・発行/いむた小児科

〒830-0037 久留米市諏訪野町 2284

☎ 0942-30-7611 fax 0942-30-7612

CONTENTS

- ☆感染性胃腸炎に注意
- ☆九州でインフルエンザ流行
- ☆野外で遊ぼう(秋の収穫祭、道の駅巡り)
- ☆今月の診療予定/予防接種
- ホームページ:<http://www.imuta.com>
- メール:office@imuta.com

(11月のカレンダー)

日	月	火	水	木	金	土
					1 BCG	2
3 休	4 休	5 ★	6 ★	7 ★	8 BCG	9 健
10 休	11	12 ★	13 ★	14 ★	15 BCG	16
17 休	18	19 ★	20 ★	21 ★	22 BCG	23 休
24 当	25	26 ★	27 ★	28 ★	29 BCG	30 健

★印(予防接種・乳幼児健診)

11月の当番医

- 3日/さかた小児科クリニック(御井)
- 4日/きむらごどもクリニック(野中)
- 10日/日吉いのうえ児科(日吉)
- 17日/本間小児科医院(城南)
- 23日/井上医院(櫛原)
- 24日/いむた小児科(諏訪野)

(夜間休日:聖マリア病院)

#8000 (小児救急医療電話相談)



今月のお知らせ

- ◆24日(日曜)は当院が当番医のため、平常通りの時間帯で診療いたします。
- ◆インフルエンザワクチンの接種を行っています。ご希望の方はお問い合わせください。
- ◆乳幼児健診は不定期で土曜日午前中にも実施中です。今月は9日・30日に予定していますので、ご希望の方はお問い合わせください。

予防接種・健診

◆インフルエンザ
ワクチン接種中です
予約を受けて実施していただきますので、ご希望の方はお問い合わせください。
〈実施曜日・時間〉
月曜〜土曜
8時30分〜11時30分
15時〜16時30分
※13歳未満は2回接種
ワクチンの入荷状況で中止の場合もありますのでご了承ください。

インフルエンザ

インフルエンザの効果は
ワクチンの効果は
インフルエンザは流行するウイルスの型が毎年異なります。そのため、ワクチンはその年の流行予測に合わせて作られ、A型2種、B型2種の株で構成。
ワクチン株と流行株が一致したら予防効果は大人で70〜90%。1歳〜6歳の幼児は免疫機能が未発達のため20〜30%です。こどもが2回接種対象なのは確実に

感染性胃腸炎に注意

秋から冬にかけて流行する感染性胃腸炎。北九州市の小学校では早くも先月下旬に、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染が発生しています。

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等の微生物を原因とする胃腸炎のこと。冬場に流行するのはウイルス性が中心で、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サボウイルス」、「アデノウイルス」等があります。

ノロウイルスは年齢に関係なく発症。吐き気、激しい嘔吐、腹痛、水様性の便などが特徴です。
ロタウイルスには6カ月〜2歳頃の乳幼児が多く感染し、嘔吐、発熱、腹痛の後に酸っぱい臭いの白色下痢便になるのが特徴です。熱は2日程で治まりますが、下痢



は一週間くらい続くこともあります。これらの胃腸炎は一度感染するとある程度の免疫はつきませんが、免疫力は年々低下するので数年おきに流行を繰り返しているのが現状です。

小さいお子さんは

脱水症に注意しましょう

小さいお子さんは嘔吐や下痢が続くと、身体の水分が失われて脱水症を起こしやすいので注意が必要です。症状がひどいときは何も受けつけませんが、落ち着いてきたらリンゴ果汁やイオン飲料などを少しずつ与えてください。脱水症状が激しいときは点滴治療も必要になりますので早めに受診しましょう。

感染予防対策

嘔吐物や便に含まれるウイルスは、乾燥すると空気中に散乱して他の人に感染します。汚物はビニール袋に入れて、床や衣類は塩素系の消毒薬で処理してください。

今は生後6週間から接種可能な「ロタウイルスワクチン」もあります。任意接種になりますが、基礎疾患がある人などは考慮してください。

INFORMATION

いむた小児科

院長 伊牟田富佐恵
(小児科専門医認定医)
診療時間:月曜〜土曜
8:30〜12:30、14:00〜18:00
※但し、予防接種のある日は午後3時からの診療です。
休診日:日曜・祝祭日



☆予防接種(予約制)
毎週、火・水・木・金
(14:00〜15:00に実施)

☆乳幼児健診(予約制)
毎週、火・水・木
(午前と午後実施)

予約の受付
診療時間内にお電話ください

